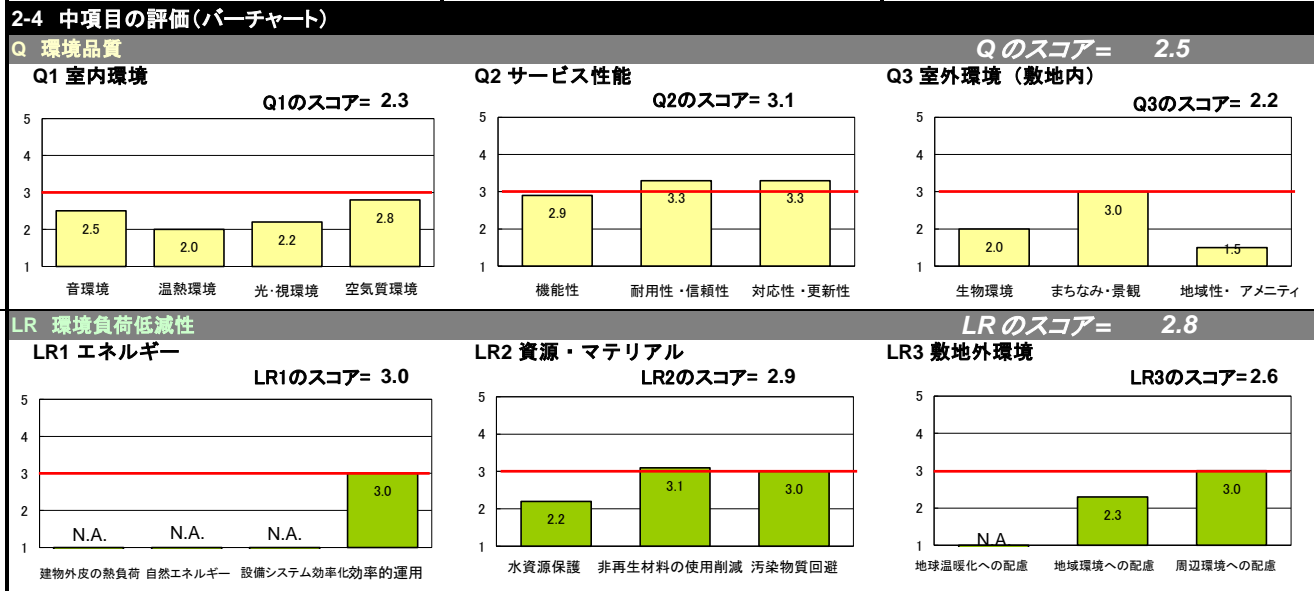
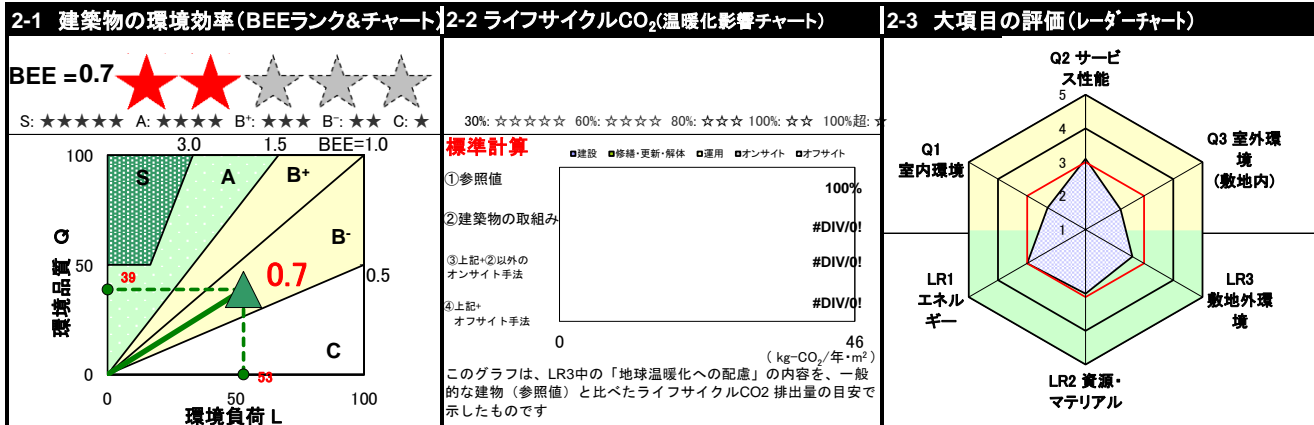


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	排水処理棟	階数	地上4F、地下1F
建設地	伊勢原市日向1,297番地	構造	RC造
用途地域	地域指定無し(市街化調整区域)、防火地域指定無し	平均居住人員	5人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2018年4月23日
敷地面積	1,510㎡	作成者	株式会社日水コンー級建築士事務所
建築面積	1,036㎡	確認日	2018年4月23日
延床面積	3,301㎡	確認者	株式会社日水コンー級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>排水処理設備という重要な機能を持つ施設であり、耐震性を確保することや、非常電源を用意するなど災害時にも機能を損なわないように計画を行った。その上で公共性の高い建築物であることからそれにふさわしい外観・景観とすることを旨とした。</p>		<p>その他</p> <p>仮設計画において多滑車引抜工法等などの可能な限り、振動や騒音が発生しないような計画とした。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>化学汚染物質の放出量の少ない材用を採用し、かつ、十分な自然換気を行える計画とした。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>十分な階高、天井高を確保し、将来の更新や空間の広がりなどに配慮し、また、耐震性も十分確保した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>可能な限りの緑地を確保し、また、良好な景観を形成できるような外観を計画した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>設備システムの効率化を実現する計画とした。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>再生材料の利用や、再利用できるユニット材料の採用、分別の容易な仕上げなどを計画した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>十分な駐車スペースを確保することや、広告物照明を行わないなど地域に配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される